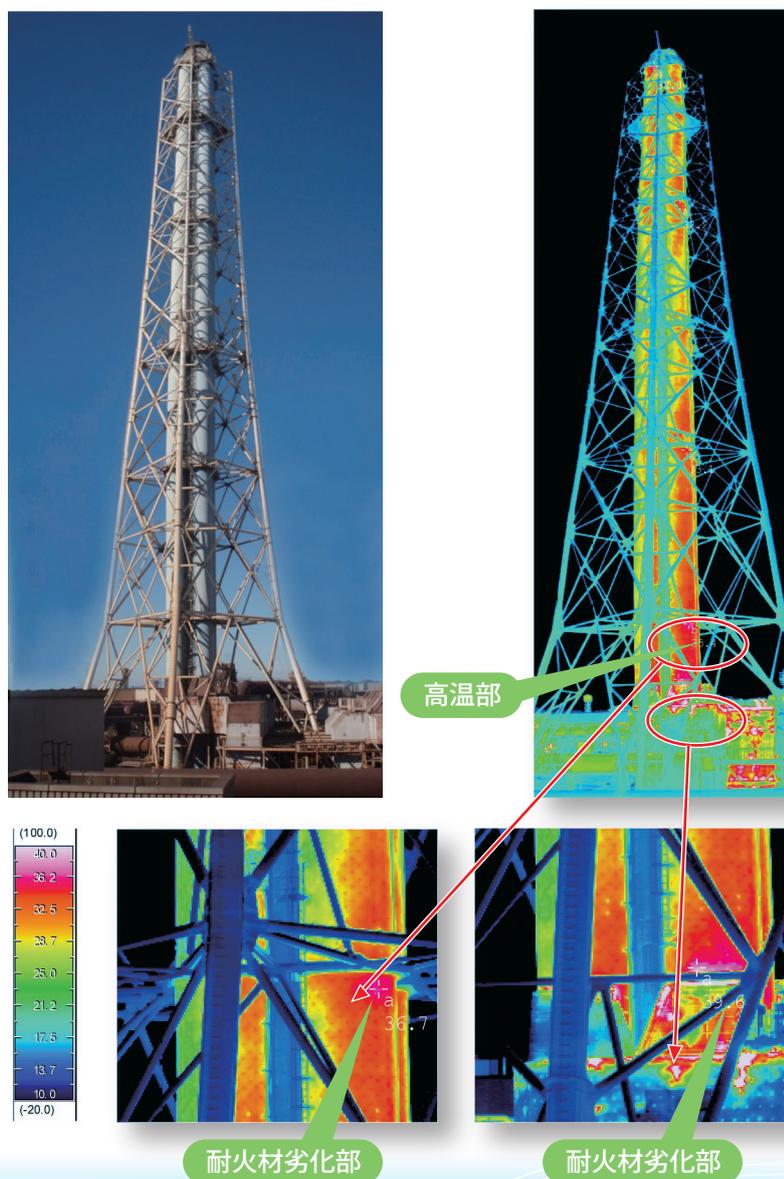


赤外線サーモグラフィ

赤外線サーモグラフィは、対象物から出ている赤外線放射エネルギーを見かけの温度に変換して、リアルタイムに温度分布を画像化する方法です。

- ◆広範囲の表面温度分布を可視化情報とし相対的に比較できる。
- ◆稼動部位や危険部位などの対象物を離れた場所から非接触で温度測定が可能。
- ◆微小物体、温度変化の激しい物や短時間の現象でもリアルタイムに温度測定が可能。

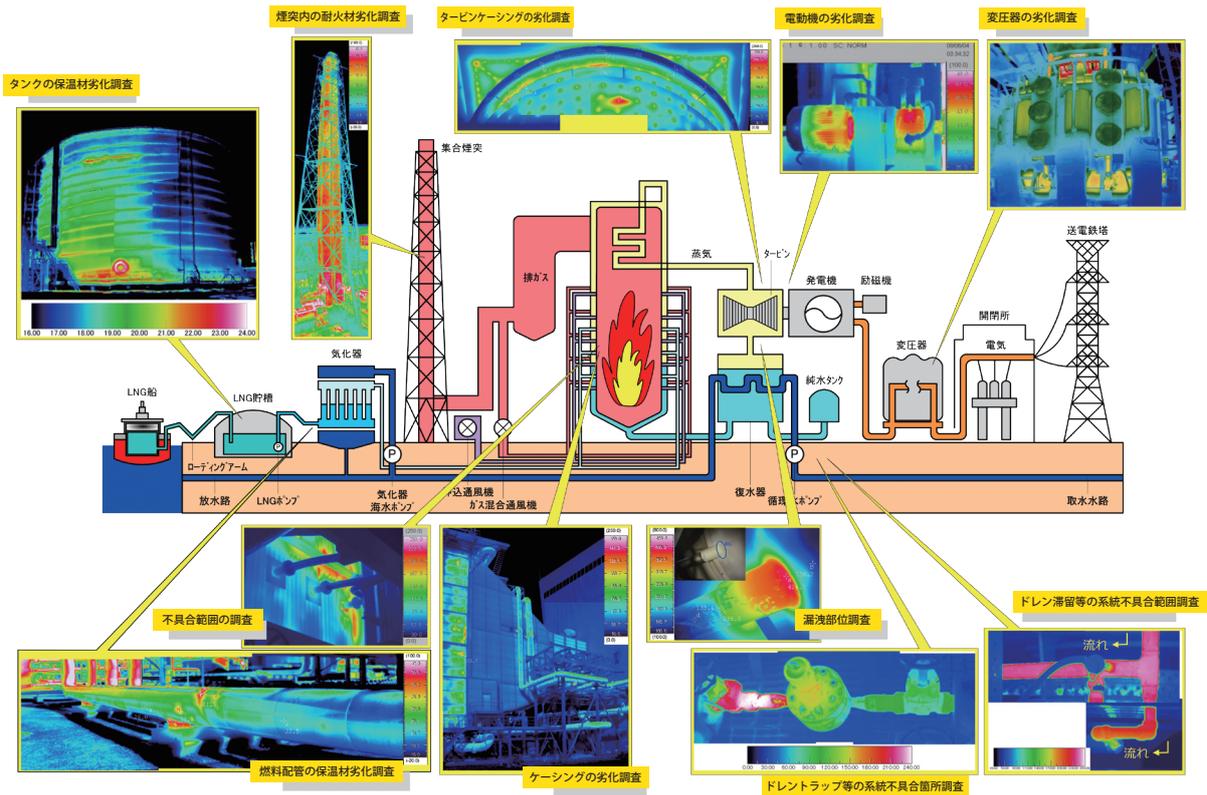
赤外線サーモグラフィによる状態



赤外線の本質

- ◆ 可視光より波長が長く目では見えない。可視光の明暗には左右されない。
- ◆ 絶対0°K以上の全ての物体から自然に放射されているためあらゆる分野に適用できる。
- ◆ 光(電磁波)の一種であり真空中も伝わる事ができる。
- ◆ 赤外線エネルギーと物体の温度は相関関係にあるので物体の温度を測定することができる。

適用事例のご紹介 - 発電設備



不具合の早期発見！

- ◆ 蒸気リーク, 電気ケーブル端子接続不良
軸受部不良
- ◆ 機器作動不良, シートリーク, 配管閉塞
- ◆ 耐火材の劣化, 保温材の劣化

状態監視に最適！

- ◆ 冷却状態の確認, 加熱状態の確認,
断熱状態の確認
- ◆ 軸受損傷, 軸受油潤滑不良の監視
- ◆ 断熱材の劣化, 断熱シール部劣化など
断熱構造物の監視

有資格者の施工及び評価

- ◆ JIS Z 2305/ISO 9712 赤外線サーモグラフィー試験レベル2 (TT 2)
 - ◆ ISO 18436-7 サーモグラフィー カテゴリII (IR-II)
- * 施工内容のご相談に付きましては、施工場所等を確認後、ご提案させていただきます。